宗像市の家計簿

- 令和7年度 -

はじめに

宗像市では、市民の皆さんに市の財政状況や税金の使い道について理解を深めていただくために、一般会計を家庭の収支に置き換えて解説する「宗像市の家計簿」を作成しています。
市のスケールを身近なサイズに変えることで、宗像市にはどのような収入や支出があり、借金や貯金がどのくらいあるのかを、わかりやすく知っていただけます。

目次

01 宗像市のお財布の仕組み … P2
一般会計って？

02 一般会計決算の概要 … P3
R7年度の決算は？

03 お金の得どころ … P4
どんな収入があるの？

04 お金の使い道 … P5
どんな支出があるの？

05 家計簿に置き換えてみると … P7
家庭の収支でいうと？

06 宗像市の収入と支出について … P8
一般財源って？支出の推移は？

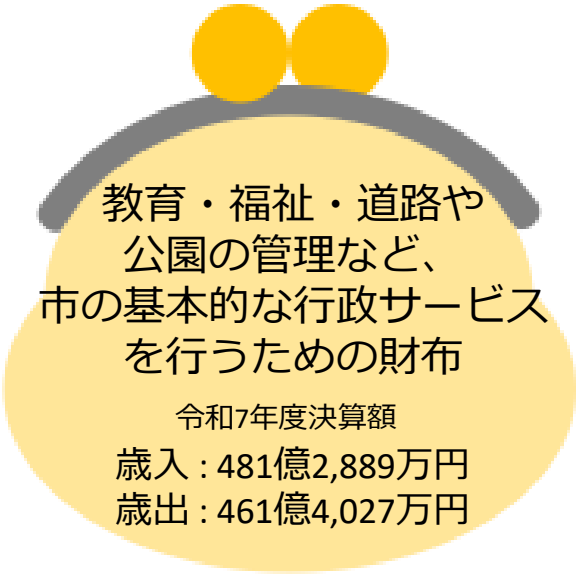
07 宗像市の借金と貯金について … P10
借金はいくら？貯金はいくら？

08 宗像市の財政状況のまとめ … P13

宗像市のお財布の仕組み

市が仕事をするために必要なお金を管理する財布を会計といいます。
大別すると下記のような会計があり、収入(歳入)の種類や使い道(歳出)などに応じて会計を分けることで、わかりやすく、収支が明確になるメリットがあります。

一般会計

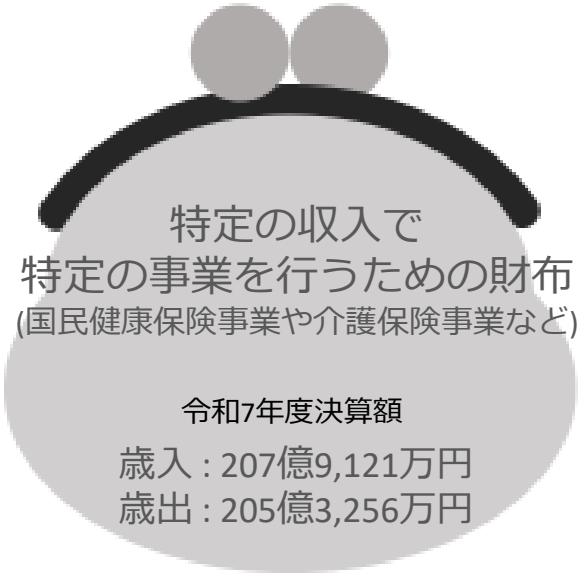


教育・福祉・道路や
公園の管理など、
市の基本的な行政サービス
を行うための財布

令和7年度決算額

歳入：481億2,889万円
歳出：461億4,027万円

特別会計

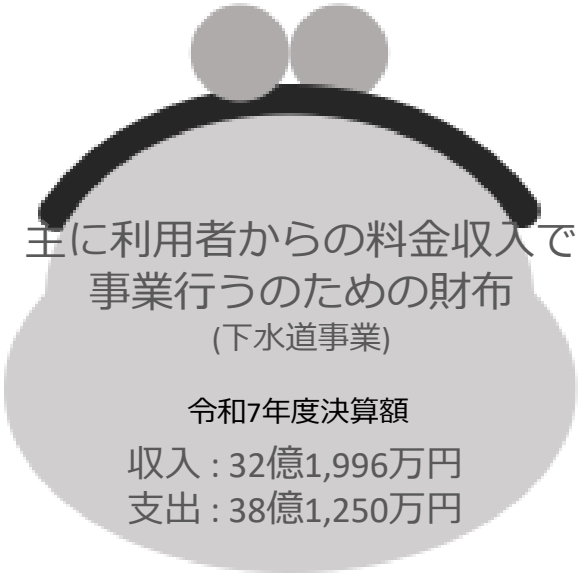


特定の収入で
特定の事業を行うための財布
(国民健康保険事業や介護保険事業など)

令和7年度決算額

歳入：207億9,121万円
歳出：205億3,256万円

企業会計



主に利用者からの料金収入で
事業行うのための財布
(下水道事業)

令和7年度決算額

収入：32億1,996万円
支出：38億1,250万円

※公営企業会計の収入、支出は収益的収支（税込み）と資本的収支（税込み）の合計

今回ご紹介するのは・・・

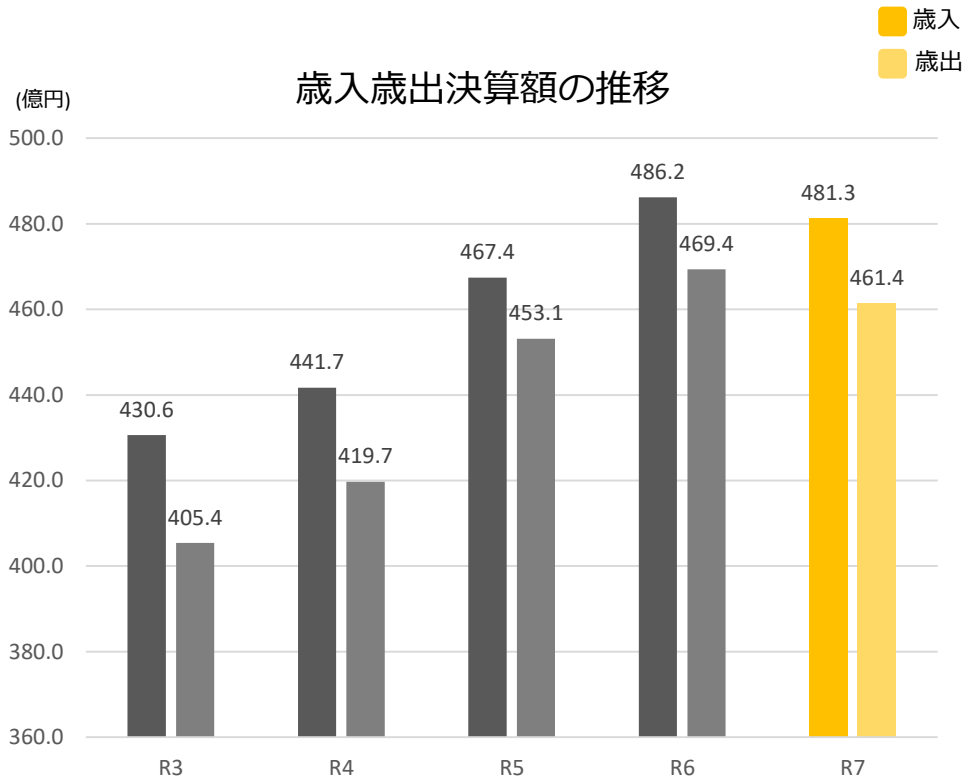
市の基本的な行政サービスを行うための財布である一般会計の決算です。

一般会計決算の概要

令和7年度一般会計の決算収支

歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)
481億2,889万円	461億4,027万円
前年度増減額 ▲4億8,665万円	前年度増減額 ▲7億9,620万円

繰越すべき財源 (C)	実質収支 実質収支 = (A) – (B) – (C)
6億2,354万円	13億6,508万円
前年度増減額 ＋2億5,075万円	前年度増減額 +5,879万円



歳入決算額は481億2,889万円に対して、歳出決算額は461億4,027万円となり、繰越すべき財源を除いた実質収支は13億6,508万円となりました。

お金の得どころ(歳入決算額の内訳)

市税

113.7 億円

市民のみなさんが宗像市に
収めていただいたお金

地方交付税、譲与交付金、交付金

136.8 億円

市町村の税収の差を
調整するために国から
交付されるお金

国県支出金

144.1 億円

使途を特定して、
国や県から交付されるお金

寄附金等

46.5 億円

市民の皆さんなどから
受ける寄附によるお金

歳入決算額

481.3

億円

繰入金

18.8 億円

基金(貯金)から
切り崩したお金

市債

21.4 億円

公共施設を整備するために
借り入れたお金(借金)

お金の使い道(歳出決算額の内訳)

歳出決算額

461.4

億円

消防・防災に

17.4 億円 (消防費)

消防団や消防施設の管理運営、
防災対策など



再整備した防災行政無線



逆流を防ぐフラップゲート

福祉の充実に

202.2 億円 (民生費)

高齢者・障害者福祉、子育て支援など



認知症講演会の開催

教育・文化の振興に

44.7 億円 (教育費)

小中学校の運営、
文化、スポーツの振興など



地域と連携した食育事業

環境・衛生の向上に

35.6 億円 (衛生費)

ごみの収集と処理、環境保全
予防接種、健康促進など



海洋プラスチックごみを油化してできた生成油

お金の使い道(歳出決算額の内訳)

道路・公園に

26.1 億円 (土木費)

道路や橋、公園の管理など



道路の補修後(左)と公園の整備後(右)の様子

市役所の管理や市政運営に

77.7 億円 (総務費)

市役所の維持管理や
コミュニティ活動など



自治会役員研修の様子

産業の振興に

16.6 億円 (農林水産業・商工費)

農林水産業の活性化
商工業・観光の振興など



食のまち宗像グルメ券事業

災害対応へ

4.2 億円 (災害復旧費)

災害復旧費など

借金の返済に

34.3 億円 (公債費)

市が借り入れた市債の
償還元金と利子

その他

2.6 億円

議会費、労働費

市民の皆さんが収めた市税を収入の中心として、
安全安心なまちづくり・福祉の増進・定住促進など様々な事業を実施しました。

家計簿に置き換えてみると

一般会計の歳入を年収480万円(月収40万円)の家庭に置き換えた時の家計簿は次の通りです。

【収入】

✓ 基本給 (=市税、地方交付税等)	258万円 (21.5万円/月)
✓ 諸手当 (=国県支出金) (医療費や家の改築などに対する)	144万円 (12万円/月)
✓ 借入金・ローン (=市債) (家の改築などに対する)	21万円 (1.7万円/月)
✓ そのほか雑入 (=諸収入、寄付金等)	21万円 (1.8万円/月)
✓ 貯金からの切り崩したお金 (=繰入金)	19万円 (1.6万円/月)
✓ 前年度残額 (=繰越金)	17万円 (1.4万円/月)
計	480万円 (40.0万円/月)

【支出】

✓ 食費 (=人件費)	51万円 (4.3万円/月)
✓ 医療費や保育料など (=扶助費)	142万円 (11.8万円/月)
✓ ローンの返済 (=公債債)	34万円 (2.8万円/月)
✓ 家の改築や車の買替えなど (=投資的経費)	39万円 (3.3万円/月)
✓ 光熱水費、雑費など (=物件費)	70万円 (5.8万円/月)
✓ 家族への仕送りなど (=繰出金、補助費等)	103万円 (8.6万円/月)
✓ 貯金 (=積立金)	19万円 (1.6万円/月)
✓ 雑費 (=その他)	2万円 (0.1万円/月)
計	460万円 (38.3万円/月)

義務的経費

投資的経費

その他の経費

令和6年度の収入と支出の差引 20万円の黒字

【資産】

✓ 家や車、貯金など (=基金残高)	220万円

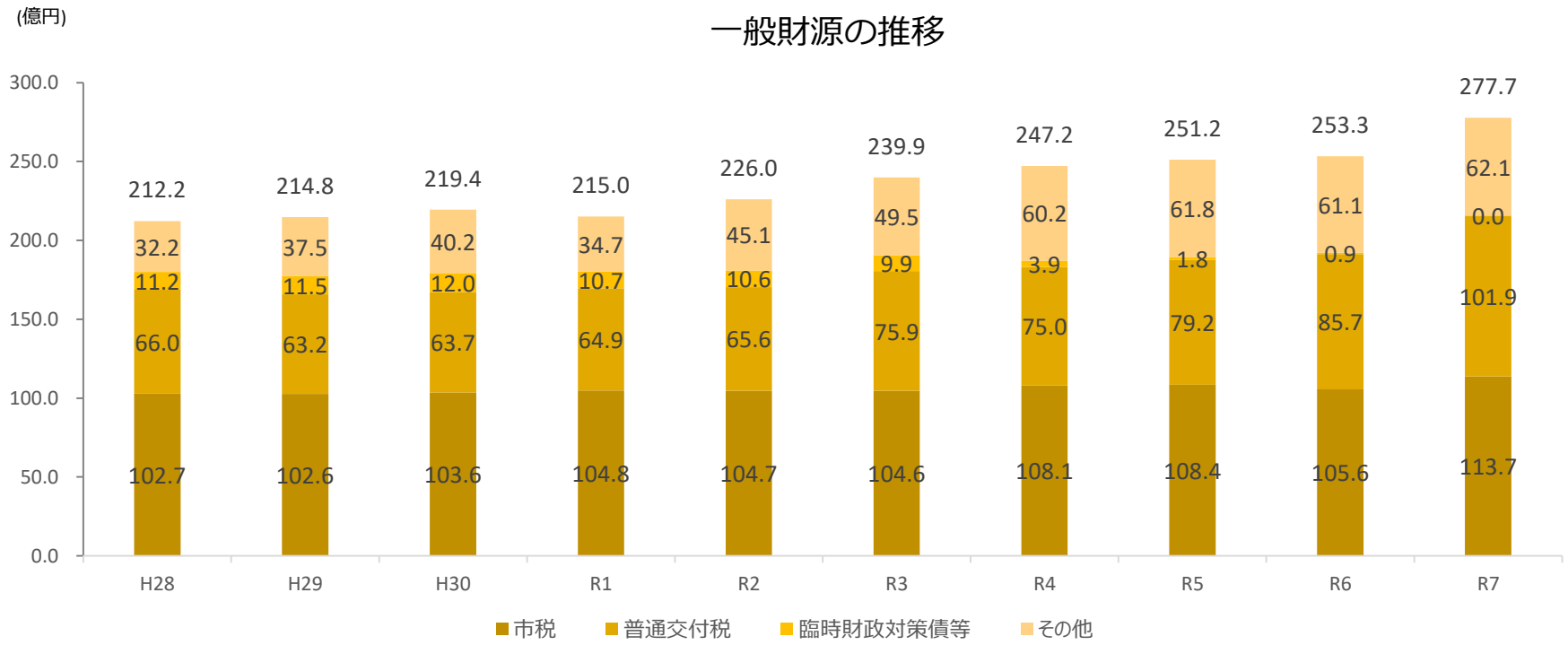
【負債】

✓ ローン残高 (=市債残高)	200万円

宗像市の収入について

☑一般財源について

宗像市の収入のうち、特に重要なのが「一般財源」と呼ばれるものです。
一般財源は市の裁量で自由に使い道を決められるお金のことで、
市税、普通交付税、臨時財政対策債、その他収入で構成されています。
市独自の政策などを進めるための重要な財源です。

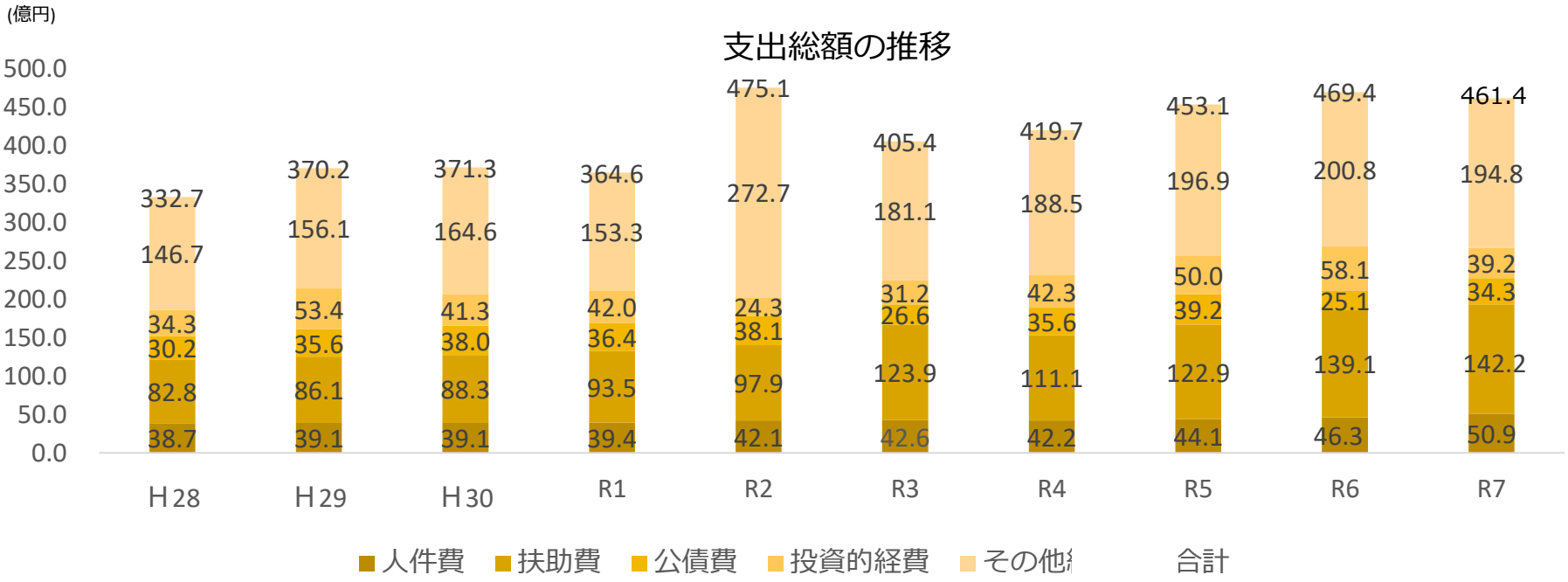


定額減税の終了などの影響で個人市民税が回復し市税収入が前年度から
8億1,475万円増加し過去最高額の113億7,401万円となりました。

宗像市の支出について

☑伸び続ける社会保障関係費

生活保護費や障害者福祉費などの福祉サービス関係の経費に加え、
子育て支援の拡充などによる児童福祉費の増加により、社会保障関係費は増加しています。
今後も社会保障関係の増加は避けられず、また不可欠な行政サービスであるために、
その財源確保に努めていきます。

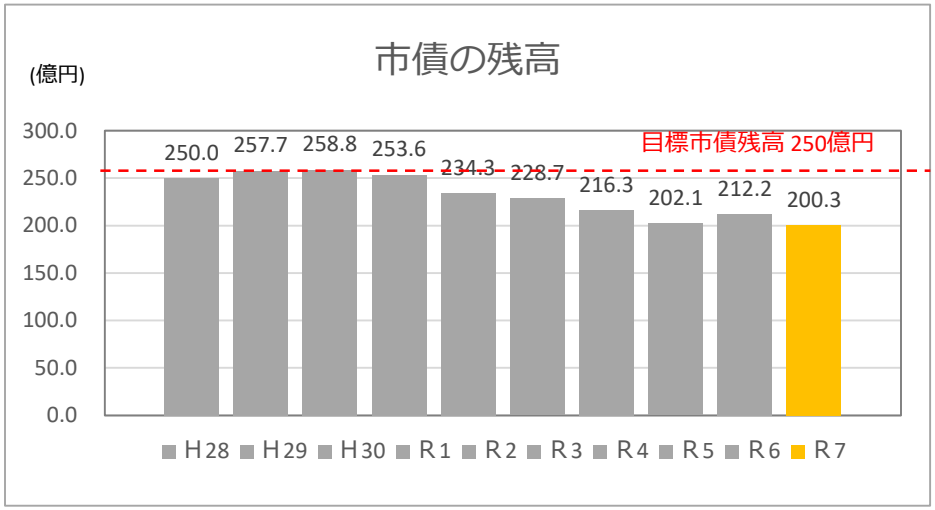


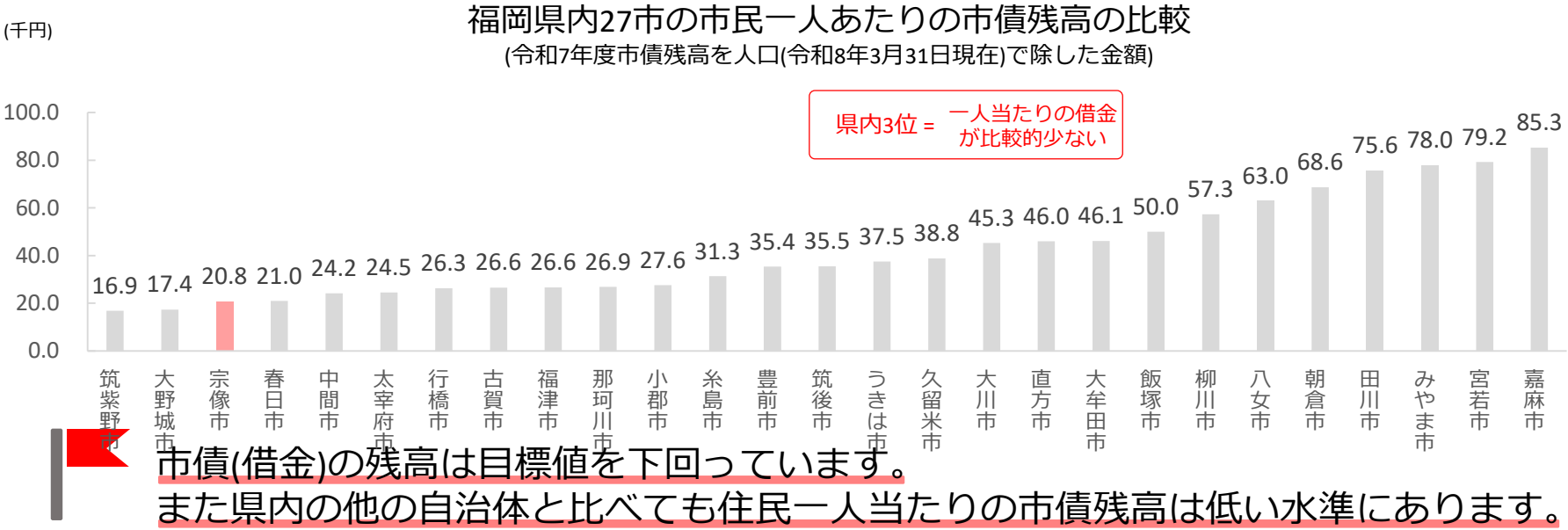
社会保障関係費の増加に加え、物価や人件費の上昇などの
社会的な要因により、支出全体が増加傾向にあります。

宗像市の借金について

☑市の借金は約200.3億円

市債(借金)残高は前年度より11.9億円減少しました。
これは、地方債の繰上げ償還（8.2億）行ったことにより、地方債の返済額が新たに借り入れた新規発行額より上回ったことによるものです。
残高は目標としている250億円を下回っており、健全な範囲におさまっています。





市債(借金)の残高は目標値を下回っています。
また県内の他の自治体と比べても住民一人当たりの市債残高は低い水準にあります。

宗像市の借金について

Q：そもそも、なぜ借金をするの？

A：将来世代の市民も含めた世代間の公平のためです。

市の資金調達(収入)のひとつが市債(借金)です。
道路や公共施設など、何十年にもわたって使われるものを
整備するための財源として活用されています。
こうした施設は、長い期間にわたって多くの市民が利用するため、
建設にかかる費用をその年の市民だけで負担するのではなく、
将来利用する世代にも一部負担してもらうことが公平だと考えられています。
そのため、市ではあえて借金(市債)をして施設を整備し、
その返済を今後数十年にわたって計画的に行っています。

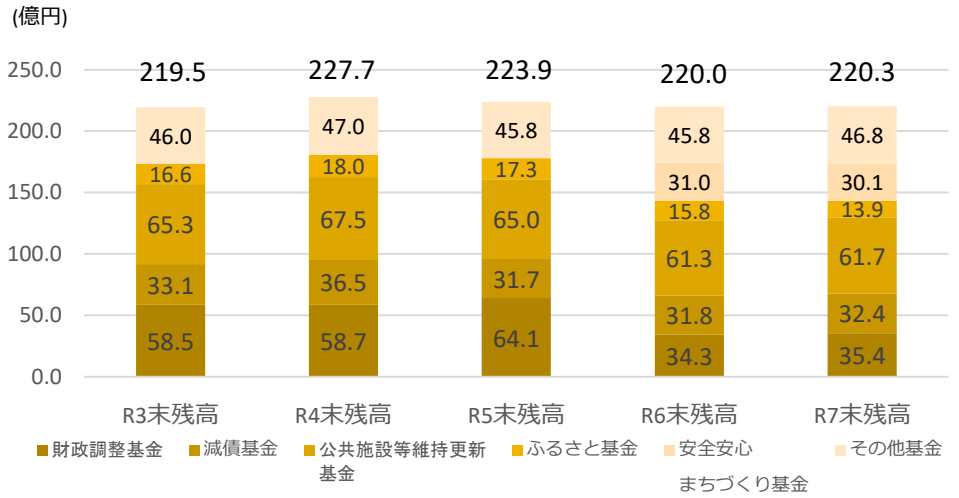
ただし、借金の返済(公債費)は義務的経費と呼ばれ、
必ず支出しなければならないものです。
借りすぎると将来の財政運営に影響を及ぼすおそれがあるため、
発行と返済について計画的に行っていく必要があります。

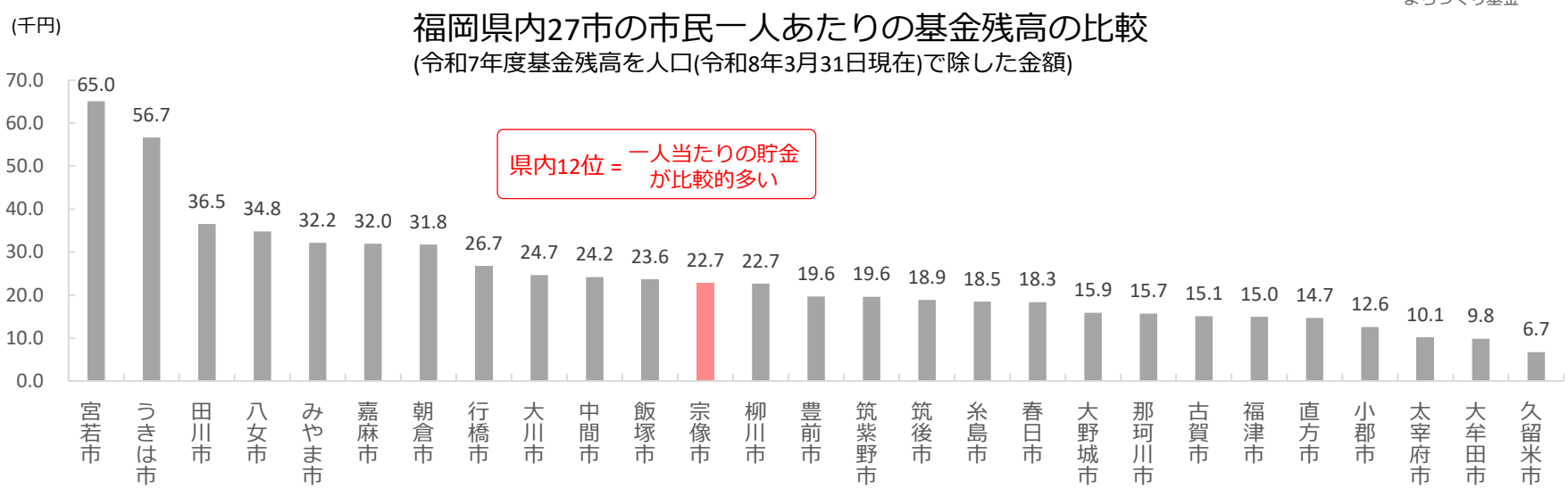


宗像市の貯金について

☑市の貯金は220.3億円

基金(貯金)残高は前年度より0.3億円増加しました。減債基金から地方債の繰上げ償還のための繰り入れを行った一方で、財政調整基金や公共施設等維持更新基金などの基金への積み立てを行いました。今度も災害をはじめをした市民生活の危機に対して迅速に対応できるよう基金を計画に活用していきます。





県内の他の自治体と比べて、住民一人あたりの基金残高は比較的多く、
将来への備えは高い水準にあります。今後も、市債(借金)の残高などを考慮しながら、
積立と取り崩しのバランスを保ちつつ、安定した財政運営を進めていきます。

宗像市の財政状況のまとめ

- R7年度の収入は481億2,889万円、支出は461億4,027万円となり、翌年度への繰越額を考慮した収支は、 13億6,508万円の黒字となりました。
- 定額減税の終了などの影響で個人市民税が回復し、市税収入が前年度から8億1,475万円増加し過去最高額の113億7,401万円となりました。
- 児童福祉費や障害者福祉費などの社会保障関係費の支出が増加しています。
- 市の借金(市債)は200.3億円で、目標値以下を推移しています。
  また、他の市と比較しても人口一人当たりの借金は低い水準です。
- 市の貯金(基金)は220.3億円で、他の市と比較しても人口一人当たりの貯金は高い水準にあります。

宗像市の財政状況や予算、決算の詳細は市のホームページでにご覧いただけます。